

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・梅雨の季節も健康で快適に過ごす。 ・水や泥の感触を楽しみながら遊ぶ。 ・安全な環境のもとで探索活動や好きな遊びを楽しむ。 	行事	プール開き 避難訓練	長時間保育	季節の変わりめで体調を崩しやすいので、一人一人の様子を把握して、快適に過ごせるよう配慮する。	家庭連携	<ul style="list-style-type: none"> ・水あそび、泥あそびのための衣服等の準備をお願いします。 ・季節の変わりめで温度差があるので、体調や気温に応じた服装、着替えの補充をお願いします。 	自己評価	感染症や咳、鼻水過多、中耳炎等の症状で早退したり休んだりする児が多い。園での様子を詳しく家庭に伝えながら今後も無理のないようにしていく。草花や虫などさまざまなものに興味が出てきている。保育者も一緒に楽しみながら探索の意欲を高めるよう働きかけていく。活動の中で一人一人の身体発達を考慮し、怪我の無いよう安全な環境作りに配慮していく。
今月の内容(養護・教育)		環境構成			配慮事項			取り組みの状況と保育士の振り返り	
<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の思いを受け止め、スキンシップを多くとり、信頼関係を深めるようにする。 ・気温差や雨の多い日も健康で快適に過ごせるようにする。 ・戸外では、梅雨の時期の自然や、砂、泥、水に触れて楽しむ。 ・保育者や友だちと一緒に探索活動や好きな遊びを楽しむ。 ・シール貼りやなぐり描き等手指を使い制作活動を楽しむ。 ・活動で十分に身体を動かし、おなかがすき、色々な食材に関心を持つ。 		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもにゆったりと関わられるよう声を掛け合い職員の動きを考えていく。 ・扇風機やエアコンを使い室温を調整していく。 ・水あそび泥あそび後の支度や入室の仕方を事前に話し合っておく。 ・事前に遊び場の安全点検し、危ないものは除いておく。 ・シールや画用紙、クレヨンなどを多めに用意する。 ・職員間で声を掛け合い連携し、待たせず提供できるよう食事の準備を進める。 			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの様子を見てなるべく子どもの求める保育者が関わるようにする。 ・汗をかいたり、肌トラブルのある児は着替えたり、ワセリンを塗布するなど配慮していく。 ・保育者も一緒に水や泥に触れて遊びの楽しさを味わえるようにする。苦手な児は好きな遊びをして過ごせるようにする。 ・のびのびと遊ぶ様子を見守りながら、怪我のないよう援助していく ・制作はゆったりと取り組めるよう机や椅子の配置などにも配慮していく。 ・見慣れない食材などは名称を知らせたり、言葉のやりとりをしたりして、楽しい雰囲気で作る意欲を高める。 			体調不良や甘えの強い児にはスキンシップを多くとり、気持ちを切り替えられるようにした。室内外の温湿度を考慮してこまめに調節し、快適な環境の中で機嫌よく過ごすことができた。保育者同士、声を掛け合いながら安全な環境を作り、室内外でのびのびと体を動かす遊びを楽しむことができた。七夕の制作は少人数で行い、シールを多めに用意するなど、子どもの意欲を汲み取りながら充分に楽しむことができた。今後も安全に夏ならではの遊びを楽しめるよう、職員同士連携して事前準備を進めていく。	